

【作品タイトル（仮題）】

無能ぶにまん白魔導士ちゃんが勇者さんの優秀オスフェロモンで快樂中毒のおまんこ奴隷にじわ堕ちする話（仮題）

【ヒロイン】

9

「サーニャ・ファズニゼル 十一歳 黒字」

一人称……私

設定 …… 地方の町ホムビスに生まれた女の子。

真面目で、何事も精一杯頑張るタイプ。

母と4つ下の妹との3人暮らしをしている。

父親は、3年前に魔素により魔人と化してしまい、冒険者に討伐された。

以来、魔王を討ち果たすことを心に誓った。

冒険者の資格を得たことで、勇者（主人公）と旅に出ることに。

0

15

「ルイーズ・ダスカル 赤字」

一人称…… アタシ

設定 …… ホムビスで酒場を営む女性。

気さくな接客が評判。

男勝りな言動が目立つが、実のところは臆病な性格の持ち主でもある。

【主人公】

特別な勇者の血を引く男。妹がいるらしい。

トラックー：プロローグ

■場所 | 酒場

SE：カランロン

//見たことない客（主人公）に対しても、

いつも通りの気軽な接客

あーい、いらっしやい

ん、初めてのの方？ じゃちょっと説明するから、こっち

ワンドリンク制、追加もあり

だけど、2杯目以降はちよっと割高だから

ま、ほどほどにね

っていつても、1杯だけで粘るのは勘弁してくれよ

ウチだって慈善事業じゃないからね

グラスが空になったらすぐ注文するように、ふふっ

お代は帰る時にまとめて払ってもらおうから

最後に注文札持ってカウンター来るのだけは忘れないでね

食い逃げしようたって、ウチの番犬たちが黙っちゃいないから

そっちもほどほどにね

そ、あんたも外で見ただろ？

ケルベルが3頭——普通は町にあんなのがいたら大騒ぎだけど

ウチはあれを飼い慣らしててね

魔獣を手懐けた酒場って

ここらじゃちょっと話題になったくらいさ

ま、そんなところかな

何か質問は？

ん、結構

じゃワンドリンクだけ、何にする？

// 『ベロニィ』はなんかそういう名前の飲み物です

イントネーションは『マロニー』『オナニー』と一緒にです

——ベロニィを、ソーダで？

サワーじゃなくてソーダかい？

おいおい、ベロニィを酒以外で割る奴なんて

ウチじゃ初めてだよ

酒でも水でも一杯目は同じ値段だけど、いいのかい？

ふーん、そ

アンタ変わってるね

ま、ウチは安上がりで儲かるだけだから

何だっていいんだけどね

じゃ準備するから、ちょっと待っててくれ

しっかしお兄さん、ここらじゃ見ない顔だね

——へえ！ そんなに遠いところから！

じゃ、色んな町で、女探しに勤しんでるってワケだ

——ん？

ああ、ここは酒場だよ

アンタだって、表の看板見て入ってきたんだろ？

——冒険の、仲間あ？

アンタまさか、ここで本気でパーティを集おうってのかい？

ハハハ、だから真面目にノンアルってわけだ

立派なもんだね

だが——ま、やめときな

確かに大都市じゃ、

酒場っていやあ仲間を集うもんかもしれないけど

ここじゃそんなの見つかんないよ

//この2行だけ少しだけトーンを落として

…こんな辺鄙^{へんび}な町じゃ、

本気で世界救おうなんて奴はいないので

例えば——ほら、あそこにデカイ剣^{つるぎ}を背負った男がいるだろ？

一応は戦士の肩書きがあるみたいだけど…

あの剣、こゝろやたら綺麗だと思わないかい？

あれは、商人が塗った光沢剤がついたままだから
わざとらしく光って見えるだけ――

――一回も振るっちゃいない証だ

毎日魔物を狩って丁寧に手入れした剣はこゝろ
もっと鈍く、だけど美しく光るもんさ

あいつ、毎週ウチに来るんだよ

酒3杯分くらい粘って

帰る時はいつも違う女と2人で宿屋に消えるんだ

何、あいつだけじゃない

どいつもこいつも、肩書だけそれらしく飾って

やってることは、今晚の相手を血眼で探してるだけ――

――道端で交尾してる獣と一緒にさ

…ま、アタシもいつしか

そんな獣を飼い慣らして稼ぐだけの商売人になっちまったけどね

// 一行だけボソっと独り言のように

…小さい頃は、世界を救うことを夢見たはずだったんだが

// 今までより少し暗めのトーンで

ん？ …ああ

こんな世界に生まれりゃ、誰だって冒険者に憧れるもんさ

だが…初めて山へ行った日に

魔獣に一度腕をちよろっと噛まれただけで

恐怖でへたり込みまっさ

父さんと一緒だったから助かったものの

それ以来、魔獣を見るたびに震えが止まらなくて――

――ああ、今も治らないんだ

// 少しだけ自虐的な雰囲気滲ませて

…情けない限りだよ

表のケルベルだって

父さんがアタシを守るためになって

調教して連れてきてくれたんだ

アタシは結局、世界も何も救えないで
未だにこんな店を――

／／空気が重くなったことを察して、無理ありげに明るく

――はは、くだらない昔話さ

退屈凌ぎにはなっただろ？

…ま、忘れてくれ

／／元の明るい接客に戻って

はい、ベロニィのソーダ

これはサービス、お代はいらないよ

何、気にしなくていい

アタシにはこれくらいしかできないからね

…久々に、いい眼の奴と会った

それから――その腰の剣

おのこ

…いい輝きだね

//優しい声色で、

言外に『アンタはこんなところにいちゃいけない』と伝えてくる

さ、それ飲んだらとっとと帰って

明日にでも町を出てくれよ

金も払わない客に、いつまでも町にいられたら迷惑だからね

いいかい？

…ふふ

びゅっへり

■ 酒場の外

SE：外

SE：駆け寄る

// 正面・中

酒場で勇者と店主の話を聞いていたサーニヤが

勇気を出して勇者に話しかける

あ、あのっ！

酒場での、女店主さんとの会話、聞いてましたっ

あなた、ただの冒険者じゃない——勇者さん、ですよね

わ、わかりますよっ

その眼めの力強い輝き——

特別な血を引き、運命さだめを背負った覚悟の光ですっ

はっ、名乗り忘れてましたっ

私、白魔道士のサーニャといますっ

世界を救う意志なら、誰よりも強く持っていますっ

ど、どうか私を、勇者さんの冒険に

お供させてくれませんかっ

//喜んで迎え入れられて嬉しそうに

——っ！

あ、ありがとうございますっ！

私、勇者さんのお役に立てるよう

精一杯頑張りますっ！

共に魔王ウーガノルを倒し、

世界に平和を取り戻しましょうっ！

// (間)

SE: 足音 二人分←

え、ええっ!?

勇者さん、あの酒場中の視線に

気付いてなかったんですかっ!?

あんなに、女の人達にジロジロ見られてたのに…

そ、そうですね

じろじろー、じろーっ、て

勇者さん、特別な血筋のエリートさんですから

皆さん、何とかして、その——え、えっちに誘おうって
狙ってたんですよ、絶対っ

結局、勇者さんがあまりにも凛々しく座っていたから
誰も話しかけられなかったみたいですけど…

——む、本当ですよ

例えば——レイピアを持った、

髪の長い綺麗な女の人、いましたよね

そうです、あの金髪の――

あの人、立ち上がった時に、椅子に水たまりができてました
履いてたズボンにも、びっしょり大きなシミを作ってた――

――き、気持ち悪かった、ですっ

あの人だけじゃありませんっ

みんな世界のことなんかどうでもよくて

え、えっちのことしか、考えてないんですよっ

さ、さいてー、ですよねっ

私に声をかけてくる人も

ズボンをむくむく膨らませた男の人ばかりで

女の冒険者さんに声をかけても、む、無視、されて……うう……

――行目でざざっと主人公の目の前に踏み出て「正面・中」へ移動

わ、私っ！

冒険者さんたちには失望しましたっ！

世界が、滅んじやうかもって時にっ！

皆、誰かがやってくれるーとか、思ってるんですよ、きつとっ！

た、確かに、志半ばで旅を辞めてしまっ人もいるくらい

厳しい道のりとは聞いていますし…

魔王城の門は、千年もの間閉ざされたまま、

侵入の糸口が掴めていないとも聞いていますが…

——それでもっ

私達は絶対っ、やり遂げましょうっ！

えっちな気持ちなんかには負けず

魔族を退け、爛れた世界に希望の光をもたらすんです！

——ん？

どうしました、勇者さん？

へ？

——ッ！

あれは——魔獣ハイナエル…っ！

こんな所に出るなんて——ッ！

勇者さん、やりましよう！

私は——え、えと、後ろで、ヒールを——

と、とにかく、お願いします！

SE：フェードアウト

SE：雷撃を纏った剣を一振り？

//正面・中 戦闘終了後、へなへなになりながら

あ、ありがとうございます…助かりました…

雷撃らいげきを纏まとったその剣けん——まさかあのハイナエルを一撃とは…
さすが、勇者さんは、並の冒険者さんとは違うんですね…

わ、私ですかっ？

私は——そ、その——魔法、まだヒールしか覚えてなくて…
な、なのでっ

勇者さんがもし怪我をしたら、私がしっかり治してあげますっ

う…

じ、実は——冒険者の資格、一昨日取ったばかりで…

魔物と対峙したのも——は、はい、初めて、でした…

す、すみません、そのせいで

実はまだ、膝が笑っちゃってて…

立ってるだけで精一杯っていうか、たはは…

先に進むのは、もうちょっとだけ待っていただけると——

SE：お姫様抱っこ

//抱き抱えられて「左斜め前・密着」へ移動

トラックの終わりまで有声囁き

——はうっ!?

ゆ、勇者さんっ!?

こ、これ、お、お姫様抱っこ、って、いう、あの

け、けけ、結婚する時に、女の子が、その

お、夫になる人、に、やってもらうやつで——

っていうか、お、おぱんつ、見えてないですよねっ？

あ、あの——

// 「その膝の怪我、大丈夫？」と聞かれて

——へ？

膝の、怪我？

い、いえ、ハイナエルからは、何も…

これは、その——勇者さんが戦ってる後ろで

ちよっと、一人で転んじやって…

それだけのやつ、なので——

SE：歩き音

——ゆ、勇者さん？

あ、あの、抱っこなんてしなくても…

本当に大した怪我じゃ——

——大事な仲間、だから…？

わ、私が、ですか…？

何にもできない私が…？

…

あ、あのっ

その…ありがとうじゅうめい

…このまま、ちょっとだけぎゅってしても

いいですか…？

その…ま、まだ、怖くて…

はい、すみません——

SE：抱きしめ

／＼行目で「左・密着」へ移動 泣きそつに声を震わせて

んっ——

ゆ、勇者ちゃん…っ

こ、怖かったです…っ

死んじゃうかもって、思ってた…っ

// 一層強くぎゅっとする感じで

う…んう…

あったかいです、勇者さん…っ

私、頑張ってもっと強くなって

勇者さんの力になれるくらい——あ、あれ？

お股のところ、なんか、ひんやりする…

こ、この感じ、もしかして——

——濡れて、る…？

// 「どっつかした？」と聞かれて

——へっ!?

な、何でもないです、何でもっ

た、多分気のせいですが、から

本当に、何でもないですからっ

■宿屋の一室

SE：ドア閉める、バタン

//正面・中 目をキラキラさせながら

囁きストップ

こ、こころが、宿屋…！

えへへ、実はちょっと憧れだったんですっ

はいっ、ドキドキですっ

冒険者にならない限りは、

なかなか足を踏み入れることもありませんし、それに――

//どこか遠い目で、少し寂しそうに

――本当に、故郷を離れちゃったんだなあって、思って

//「やっぱり寂しい?」的なことを聞かれて

——え?

えへへ…心配してくれてありがとうございます

確かに、お母さんや妹と会えないのは…少し、寂しいですが——
ですが、私は全然、大丈夫ですっ

冒険者協会に登録した時から、決意は変わりませんっ

それに、せっかく故郷の酒場で勇者さんに出会えたんですっ

世界を救うパーティの一員である私が

寂しがってなんていられませんっ

はいっ

さて——明日は早めに町を出ますし

今日はもう寝ちゃいますか?

ふふ、そうですね

//横を向いて

じゃあベッドに——あ、あれ?

ベッド、一個しかない…？

何でだろ…受付の人のミスかな…

//正面に向き直って

勇者さん、どうしましょう…？

今からでも、お部屋、変えてもらいますか…？

うーそう、ですよ

結構混んでましたし、多分他の部屋は空いてないですよ…

//緊張のドキドキを隠せずに声を裏返らせながら

じゃあ、今日は—

—い、一緒に寝ること、しますか？

//『仲間』を強調する感じで

—へ？

だ、大丈夫ですっ

異性同士だなんて関係ありませんっ！

私達は、世界を救う志を持つ『仲間』なんですっ

えっちな気持ちに負けて、その約束を違^たえるような
軟弱者ではないはずですよっ！

勇者さんも、そうですねっ

//はずかしそうにしないで羨んでいく感じで

は、はっっ

そ、そっっっっっっっっっっっっ

今日は…はっ、っ っっっっっっっっっっっっっっっっっっっっっっっっ

SE：衣擦れ→ベッドイン

//一行目で「右・密着」へ移動 有声囁き

は——はっ——

——ち、近い、ですね

それに——へへ、あったかい、です

ん…

では、勇者さん

おやすみなさい…♡

／＼（間）

／＼右・密着 しばらく寝息↓次第に息が少し荒れてくる

すー…すー…

すー…すー…っ

う…は、ハイナエルが…

毒の、牙が——っ！

／＼一行目で「右斜め前・中」へ移動 囁きストップ

目覚めて一気に飛び起きる 寝汗びっしょりのイメージです

——ッは！

は、はっ、はーっ…！

ゆ、夢——はあ…はあ——っ…

…私、勇者さんがいなかったら

今頃、もうとっくに…し、死んで——っ！

// 行目で「正面・密着」へ移動 有声囁き

ゆ、勇者さん、勇者さぁん…っ

勇者さん、怖いです…っ

怖かったです…っ

ハイナエルが、私を睨んできて

た、食べられちゃうかもって、思って

立ってられなくて——

う…本当に、怖かったです…っ

う、う…っ

ね、寝てるう…

// 抱きついてたらだんだん安心してきて

……っ

勇者さんの体、大きい…

……

お姫様抱っこ、されちゃったなあ…

——っ

また、お股のところ…変になってる…？

ん——

SE：ぶんぶん

SE：ぬぬっ

//ー行目で「正面・中」へ移動 囁きストップ

——んひゃっ!?

な、何これ、びちよびちよ…っ！

お股が濡れるのって、こんなに、なの…!?

これって、私の体が

勇者さんってっちしたがってるって、いう…

——ち、違うっ！

私、そんなつもりで勇者さんに声をかけたわけじゃ——！

ん…ん…

SE：ぶんぶん

SE：ぬるっ

// 1行目で「正面・密着」へ移動 有声囁き

まだ体が強張ってる感じで

んうっ——♡

はっ…はぁっ…指でも、結構、気持ちいいんだ…

// 自分に言い聞かせる感じ

んう…じ、自分で触るだけなら、いいかな

…いい、よね

一人でするだけなら、えっちじゃない、もんね…？

勇者さんにも、迷惑かけてない、し

うん、うん…

SE：オナーニー浅め↑

／＼行目で「左・密着」へ移動

どんどんとろけていく感じでノーマル喘ぎ

んう…っ！

ああ、やっぱりこれ、んっ、すっごく、いい——んあっ…♡

はあ、はあ、ふうんっ、ああん…っ♡

勇者さん、勇者さん…っ♡

勇者さ、んあっ…んっ、んう…はあっ…♡

んっ…はあ、あっ…♡

うやんっ、は、んん、んゆっ…♡

はあんっ…すっごく、んあっ濡れて、る、んう…っ♡

ぬるぬるして、あんっ、お股が、いっぱい、んっ…♡

気持ちよく、て——っ、はあ、はあ、ふうんっ、ああん…っ♡

ああ気持ちい、です、勇者さん…っ♡

はあ、んやあっ、あふ、んうっ…♡

んあっ…んっ、んう…はあっ…♡

うやんっ、は、んん、んゆっ…♡

ふうんっ、ああん…っ♡

っ——はあ、はあ、っ——ふー、ふー…♡

こ、こんなに気持ちよかったんだ、おなにーって…

皆が夢中になっちゃうのも…わかる、かも…

しかも、大人の人達がやってるのは

おなにーより気持ちいいっていう——な、生えっち…

う——もし、お股を、勇者さんに触ってもらえたら

どれくらい気持ちいいんだろ…

//ー行目で「正面・中」に離れて 囁きストップ

——っ！

だ、だめだめっ

私達、えっちするために一緒にいるわけじゃないしっ

世界を救うための、仲間、だしっ

そ、それに——もし、二人でえっちなこと、しちゃったら

勇者さんがすっごいハマっちゃうかもしれないし…

私は絶対に、えっちなんかに負けない、けど

勇者さんはもしかしたら

おちんちんの気持ちよさに、負けちゃうかも、だし…

う、うんうん

今日、私のお股が変なのは――

――た、たまたま、だし

勇者さんってっちしたいわけじゃ、ない、はず…

／＼行目で「右・密着」へ移動 無声囁き

んっ――

勇者さんも、私とえっちしたくなっちゃっても

我慢、してくださいね…♡

一人でおちんちんしこしこするだけで

満足、してください、ね…♡

なんて、ふふ…♡

寝てたら、聞こえないですよね…♡

// 1行目で「正面・密着」へ移動してキス しばらく有声囁き

ん——

——んちゅ…♡

——っ、へ、へ、ふふ、にふ…ちゅー…しちやった…♡

// お子様な感じのかる〜いディープキス

んあ——あむんっ

ん、ぢゆる、んうっ、ちゅちゅんっ♡

ん、ちゅう、ぢゅ、ちゅずず、んぢゅ♡

ぢゅうっ、んうっ♡

んちゅ、ちゅる、んうねう、ぢゅりゅっ♡

んっちゅ、ぢゅづづ、ぢゅむ、ちゅっ、ちゅう♡

んちゅ、んぢゅ——はっ♡

へ、へ、へ…勇者さん…♡

あ——お股のお汁、こんなに…

勇者さんの体にも、垂れちゃってる…

う、あう…今日、私の体、変かも…

い、いや、えっちな気持ちになってるとかじゃなくてっ

なんか変ってだけ、でっ

うん…だから——

ちょっとくらいお股を指でほじほじするくらいは

仕方ない、よね

うん、うん…さっきよりも奥まで

触った方がいい、みたいな感じ、だし…うん…

このまま、奥まで——

SE：ぬるっ 奥まで

// 1行目で倒れ込むように「右・密着」へ移動

——んオおッ…♡

は、はっ、は——っ…

す、す、す、今の——

もっど、奥、まで——

SE：ぬるっ 一番奥まで

んおおっ…♡

は、はっ、はーっ…♡

このまま、ほじほじっっ——

SE：キマン、奥まで ↑

//ねっどりと甘いオホ声 濁音気味に

おお、おお、おほっ、おおおおっ…♡

んうおおっ、んう、おお…♡

おおお、おおおお…♡

んおお、ああ…気持ち、いい、んおお…♡

んっ、んっおおお、おおおお…おああ…♡

おおおっ、おっ、んうお…♡

うおおおっ、うあ、んっ、ふうあああっ…♡

んっおっ、んおおっ、んぐっ、んごおお、っおおお…♡

んああ、んっ、んお、オッ、んぐっお、おおあ…♡

んおっ、んっ、んっ、んうううづづっ…♡

っおっ、んおおっ、んぐっ、んごおお、っおおお…♡

んあ、んお、オッ、んっお、おおおあっ…♡

んおっ、んっ、ん——っ…♡

あっ、オっ、んおおっ、おっ、オオ、おっ、おオっ…♡

おっ、んおっ、おおおあお…♡

／＼行目で「正面・密着」へ移動

貪るようなねっとりディープキス 合間合間でオホ声が漏れる

はあ、は—っ…

勇者さん…勇者さん…っ♡

んお——はむんっ♡

んっ…んむっ…おんっ…んおぢゅ…っ♡

んぢゅ…んぐっ…んお…んおおっ…んっ…♡

ちゅ…ぢゆるんむっ…ほおっ…♡

ちゆる…ちゅ…おっ…んほお…っ♡

んぢゅ…んっ…んお…んおおっ…ん…っ♡

ちゅ…ぢゆるんむっ…ほおっ…♡

ちゆる…ちゅ…おっ…んほお…っ♡

んっ…んっ…ぢゆる…んっ——ぷはっ♡

// 正面・密着

下品な濁音甘オホ声 絶頂に向けてじわじわ高まってくる

んうっ、んおっ、おほ、おほお…っ♡

勇者さん、勇者さんっ、オツ…♡

もう私、おおっ、おおんっ、こんなっ、おおおおお…っ♡

奥っ、んおっ、奥、ふっ、んうおお…っ♡

んほお、おっ、おっ、おほおお、おっ…♡

んぐっ、オツ、オツ、オオオツ…♡

あっ、おっ、おっ、おっ…♡

// 絶頂に向けてスパート

あ——あくる、くる…変なのっ、くるっ…♡

おっ、オツ、おっ、オツ、おっ、オツ♡

んぐっ、オツ、おおごっ、おぐおっ、あおっおっ、くる、クツ…
んっ、オツ、お——ッ♡

／正面・密着 濁音で下品に絶頂 吐息混じりの有声囁き

余韻オホと痙攣吐息

ンオツ——オっ、お、オオオオ…くくく——ッ…♡

あ、うあ、お、あ——

はあ、はあ、はあ、はあ——っ

ふー、ふー…かひゅ、ふうう…

ぜえ、ぜえ、ぜえ、ぜー…

ん、う…あ、あ——

ふあああ…♡

す、すごかったあ…♡

これ——これが、イクっていう、感覚…♡

おなにーで、いったんだ、私…♡

SE：おめし

／＼行目で「左・密着」へ移動 有声囁き

じつじつと、どんどん独り言っぽく

最終行は本当に無意識に口から漏れ出てしまった感じで

へへ、勇者さあん…♡

——勇者さんの、体…♡

…へへ…おっきくて…あったかくて…いい匂い…♡

ん…にへへ…勇者さん…♡

あんなに怖い魔物を、一人でどんどん倒しちゃって…

男らしくて、かっこよかったなあ…♡

今まで見てきたどの男の人よりも…

すっごく頼りになって、優しくて、いけめんさんで——

——勇者さんと、えっち、したいなあ…

／＼行目でガバツと「正面・中」へ移動 囁きストップ

—はっ

ち、ちがっ

違いますよ、勇者さんっ

今のは決して、そういう意味で言ったのではなく—

あう…そ、そうだ、勇者さん、寝てるんだっ…

／＼行目で「右・密着」へ移動 無声囁き

勇者さんに抱きついて、安心して寝ちやう

んっ—う…

…んっ

へ、へへへへ…♡

勇者さん…勇者さん…♡

ん…眠くなってきた…

す—…す—…

す—…す—…

2
トラック3
終

■ 山道

SE：外

SE：魔物倒す

//正面・中

はう…す、凄いです、勇者さん…

あの魔獣がイタルすら、こんなにも容易く…！

SE：勇者が魔物の牙を切り落とそうとする

あ——その牙…切り落として持っていく、んです、よね…

う…何度見ても、この時間は苦手です…

わ、分かってはいるんですよ

討伐の証がないと、冒険者協会から報奨金ほうじょうきんも貰えないし

生活費の為に欠かせないことだっていうのは

／＼討伐された父や、それ以来元氣のない母のことを思い出して

ただ——魔獣とはいえ、

心を魔素まそに染められるまでは普通の動物だったと思うと

どうしても抵抗が：

そ、それに、魔獣ならまだしも

もしこれからの旅で、魔人に出会ってしまったらと思うと——

——だ、だってっ！

魔人は、魔素に染められるまでは

私達と同じで、普通に暮らしていたはずの——う……う……

と、とにかく、一刻も早く、魔王を討ち倒しましょうっ

も、もう私、お母さんみたいな人を——っ

か、悲しむ人の顔を、見たくないです……っ

う——さ、先に進みましょうっ

世界を救うためには、立ち止まってる暇なんてないんですっ

町は、もうすぐそこですっ

// (間) 街へ入り、討伐の証を冒険者協会で換金

SE：金貨じゃらじゃら

//目を輝かせて驚きながら

お、おお…噂には聞いていましたが、こんなにお金が沢山…！
あれだけ魔獣を倒してきたので
当然といえば当然かもですが…

いざこうして金貨の山を見ると…うーん、すごいです…っ

42

//お金を折半しようとする主人公に対して

—へ？

せ、折半!?

だめですよっ！

道中の魔物を倒したのはほとんど勇者さんなんですよっ

私はただ、時々勇者さんの怪我を治しただけですっ

だから、お金は全部、勇者さんが持っていてくださいっ

私は、必需品を買ってもらえるだけで十分ですっ

//でも仲間だから…と頑なに折半しようとする主人公に対して

どれだけ渋っても引き下がらそうにもないので

少しだけ貰うことを提案

う、ぐ…ぐ、こんな時ばかり

そんなに強情にならなくてもいいじゃないですかあ…

んう…う…う…う…う…

じ、じゃあ、お言葉に甘えて

はんぶ——ん、う…い、いえ！ 4分の1！

4分の1だけ、お小遣いとしていただきませすっ

い、「いいの?」も何もないですっ

4分の1だけでも、一ヶ月は生活に困らないお金ですよっ

//勇者さんへの好意がダダ漏れな優しい声色で

もう…本当に勇者さんは…

ありがとうございます…♡

SE：じゃらじゃら金貨分ける

／デフォルトな声に戻して

じゃあここからは、少し自由行動にしますか？

はい、勇者さんは剣つなの精錬、ですよ

私は——そうですね

このまま大通りの商店街を見てみようと思います

はいっ

地方のお店の品揃えには

その街や地域の特徴が色濃く表れると聞きました

せっかくこうして故郷を離れたんですから

見識を深めてみたいんですっ

それにもしかしたら

魔王城の侵入に役立つ何か売ってるかもしれないから

はいっ

では、剣けんが仕上がったら戻もどってきてください
私はずっと、大通りにいますから

// (間、夕暮れになってる)

SE: カラス カーカー

// 正面・中 下を向きながら

裏路地の怪しげなお店のえっちな玩具に夢中になっている

こ、これを、入れるって、こと…!?

こんなに大きいの、入るわけ…

だ、だってお股って、指一本でもきつきつなのにな…

SE: 肩アーンアーン

// 一行目で顔を上げて正面を向く

は、はうっ…

ゆ、勇者さんですか、びっくりしました…

どうしました？ いきなり後ろから――

――へ？ 集合時間？

あ、す、すみませんっ

ちよっとお買い物に夢中になっちゃって――

／＼「大通りにいたんじゃなかったっけ…？」と聞かれて、

慌てて棒読みで下手くそに誤魔化す

――ふえ？

大通りにいるって、言ってた…？

――はっ！

あ、あれー、なんだろ、ここーっ

夢中になりすぎちゃったせいで

裏路地の、変なお店まで来ちゃってた、なーっ

全然、何のお店か、わかんないなーっ

さ、さあ、もう今日は宿に行きましようっ

もうすぐ日も落ちますしっ

い、いいですからっ

ここ、変な物しか売ってませんでしたからっ

私もよく見てない、ですけどっ

さ、さあ早く、さあさあっ！

トリック4 終

■ 宿屋・夜

SE:時計軽くカチカチ

SE:ゴソゴソ衣擦れ

//右・密着 無声囁き

ゆ、勇者さん…

もう寝ましたか…?

…ね、寝ましたね?

//[正面・中]へ移動しながら

う、うん、よっ

SE:ゴソゴソ 鞆からえっちなおもちゃ取り出す

罪悪感とそれを振り払うように言い訳

う——こ、これ…

結局あの後、買ったちゃった…

路地裏のお店に売ってた、大人の、おもちゃ——

——を、こんなに、いっぱい…

う…お小遣い、ほとんど使っちゃった…

で、でも！

し、しょうがない、よね

あんなにお金あっても買う物もないし

お股うずうずしてたら冒険に集中できないしっ

そ、それに、店主のお姉さんが、すっごく気持ちいいって——

お股、気持ちよくできるって、言ってたし…

う、うん、そう、私が欲しくて買ったわけじゃなくて

無理やり押し付けられちゃっただけ、だから、うんうん

お、お姉さんのセールストークが上手だっただけ、うん、うん…

…や、やっぱり、お姉さんにバシちゃってたかな…

経験のないえっち初心者が、

張り切ってお股気持ちよくしようとしてる、って…

—い、いや、私が欲しかったわけじゃない、けどっ

そんな恥ずかしい勘違いされてたら嫌だなんて、それだけでっ

う…と、とにかく、勇者さんには内緒にしておけば…

う、うん、お小遣いの使い道なんて、私の自由、だし

ちょっとくらいなら…う、うん、いい、はず

SE：パンツ脱ぐ

じゃあ早速、この—お、おちんちん、の、形の、やつ…！

お股—お、おまんこに、入れればいいんだよね…？

ん…こんなに太いのを…お、おまんこに…ぶく…っ

SE：先っぽをあてがう ぬるっ

んっ…

っふー、ふーっ…

これを、このまま、中に…っ、入れる、感じて…んお——♡

SE::先っぽが中に入る

／体の力が抜け、抱きつくように「右・密着」へ移動

濁音で苦しそうなオホ声 しばらく有声囁き

あ、う、あっ…くっ、う…!!

んっ、オツ…オオ…ツ…♡

はっ、はー、はー…っ…♡

全然…入らない…っ

おまんこ、きつきつすぎて、これが限界…っ

あで、でも…先っぽをぐぽぐぽするだけでも——

SE::ディルドの先っぽゆっくり出し入れオナニー←

んっ——おおお…っ♡

結構、おっ…、気持ちいいかも…♡

これで、ほじほじ、んぐっ…♡

//勇者さんに抱きついたまま、快樂負けデイルドほじりオナニー

キツさにも慣れてきて、とろとろの濁音甘オホ声

あっ、オツ、ンオツ、オツ…♡

んおっ、オツ、ンオツ、オオツ、あおっ、オツオ♡

オツほ、んっおっ、オオオツ、んっ、オツ、オオオツ…♡

おっ、おっ、おおっ、んおっ…オオオ…♡

おツ、んおっ、おっ、オオオツ…♡

す、すごい、これ、おツ、おまんこ穴、が、んオツ…♡

みちみちって、なって、んっおっ、オオツ、んっ、オオツ…♡

ゆ、勇者さん、とっ、おっ…♡

えっち、してる、んおっ、みたい、おっ、オオオツ…♡

オツほ、んっおっ、オオオツ、んっ、オツ、オオオツ…♡

おっ、おっ、おおっ、んおっ…オオオ…♡

おツ、んおっ、おっ、オオオツ…♡

んぐっ、ほおおお…♡

おっ、あおっ、ンッ、オッ、オオオ…♡

ふぐっ、うっ、オッオッ…あっ、んっ——

SE：ディルドの先っぽゆっくり出し入れオナニー→

//やめなきゃという理性ともっとしたい快楽に挟まれて

一瞬で快楽に負ける 発情して

はあ、はー、はあーっ…♡

き、気持ち、いい…♡

癖になっちゃいそう…♡

も、もう、やめなきゃ…♡

こんなの、ずっとやってたら

指じゃ、満足できなくなっちゃう…♡

だ、だから——

もう…もう、やめ——もう…も——もう、ちょっと、だけ…っ♡

SE：ディルドの先っぽ出し入れオナニー 中速←

オツほ、んっおつ、オオオツ、んっ、オツ、オオオツ…♡

おつ、おつ、おおつ、んおつ…オオオ…♡

おツ、んおつ、おつ、オオオツ…♡

オツほ、んっおつ、オオオツ、んっ、オツ、オオオツ…♡

おつ、おつ、おおつ、んおつ…オオオ…♡

おツ、おつ、おつ、オオツ…♡

おつ、ンツ、オツ、オつ…♡

ふぐっ、うっ、オツオツ…あっ、んっ—

SE:ディルドの先っぽ出し入れオナニー 中速→

っ—あゝ…はーっ、ふー、ふーっ…

う…もつと奥まで、入れたい…けど—

これ以上入れたら、おまんこ、壊れちゃいそうだし…

おまんこの一番奥は、ゆ、勇者さんのおちんちんで

ぱいぱいさせたい、し…

//自分で言ったことにハツとして、2行目で「正面・中」へ移動

移動後、囁きストップ

——はっ！

い、いやいやっ！

勇者さんとのえっちなんて、全然、興味ない、けどっ

た、ただ、おもちゃでやりすぎちゃうのは変ってだけで、うん…

そういう意味で言っただけ、で、うん、うん…

うん、じゃあこれは…一旦、やめよ…

SE::ガサゴソ 別のおもちゃを漁る

55

で、次はこの——で、でんま？ だっけ…

でもこれ、どうやって——

SE::電マの電源オン

//音の大きさに驚いてすぐ消す

は、はうっ！

SE：ガッ(すぶ消す)

お、思ったよりうるさい…

こんなにおっきい音—

—ん、う…だ、大丈夫、か

勇者さん、昨日も起きなかったし…うん、うん

これ…お股の、ここ—お豆さんに当たるとららって
お店の人は言ってたけど…

SE：電マオン↓クリに当てる

//クリトリスに電マを当てて、あまりの刺激に驚く

2行目で「右・密着」へ移動 しばらく有声囁き

これぞ、ん—

—ん~~~~~#\$\$%&=じっ♡

／＼行目で「正面・密着」へ移動

　　またも快樂に簡単に負ける

　　な、な、何これ…っ

　　気持ち、良すぎて…おしっこ、漏らしちゃうかと思った…っ

　　さ、流石に、こんなに気持ちいいのは、やめておいた方が――

――んう…ん…

…い、いや、ちょっとくらい、いい、かな

　　べ、別に、私が気持ちよくなりたいわけじゃ、なくて

　　なんか、えと、うーし、試練、そう、試練みたいなやつ、だし

　　気持ち良すぎるのに耐える試練、みたいな…

　　うん、冒険に必要な、鍛錬の一種だと思えば、うん…

　　だから、おまんこが気持ちよくなっちゃっても

　　仕方ないし、う、うん

　　これはあくまで、鍛錬、うん、うん…

じ、じゃあ——

SE：電マオン

こ、これを、もっかい、おまんこに——

SE：電マオン

／＼行目で「左・密着」へ移動 引き続き有声囁き

クリバイブオナニー

気持ちいいだけじゃなく少し苦しそうな要素も入れたような

下品な濁音オホ声

オツ、オオオオオ…ツ…♡

んっ、オツ、ほおおお…ツ…んぐっ、オツ、おおお…ツ♡

おおお…っ♡

おっ、おっ、ん、おおお…ツ…♡

おおっああああ…っ…こ、ね、んオ、おおお…っ♡

ぎもぢ…いい…っ、オオオオオ…ツ…♡

あっ…ゆ、勇者さん、勇者さ——オツ、オオオオオ…ツ…♡
おっ…あああ〜…ん、お、んオ、おおおお…っ♡
か、勝手に腰が、オツ、浮いちゃう、んっ、オツ…♡
オ、お、オ、お——ほおおオお…ツ…んっ、オツ…♡
す、すご、これ、オツ——ああすぐイっぢやう、お…っ♡
イク…イクイクっ…♡
おっ、オツ、イクイクイグイグイグ…ツ♡
おっ、オツ、おっ、オツ♡
んぐっ、オツ、おおごっ、おぐおっ、あおっおっ、いく、イツ…
んっ、オツ、お、オオオ——

SE: バイブ離す

〓 絶頂、オホ余韻

ンオツ、オツ、お、オオオオ…〜〜——ツ…♡
あ、うあ、お、あ——
っ——はあッ、はあ、はあっ…はあ〜——っ
ふー、ふー…ふーっ…

ん、う…あ、あ——

SE: バイブオフ、カチッ

はあ、はあ…これ、すごい…♡

おまんこ、無理やり気持ちよくされてるみたい、で…♡

なんていうか——

強引に襲われてるのに、気持ちよくイっちゃう、みたいな…♡

——へ、えへへ…♡

勇者さんに、力任せにおまんこ、虐められたら…

こんな感じ、なのかな…♡

// 一行目で「正面・中」へ移動 囁きストップ

——あそ、そうだった

ちっきのおちんちんのやつと、これ…

どっちも使ったら、すごいことになるんじゃない——

——ぐぐっ…

ん——

SE電マオン

//電マ当てる↓そのあとデイルド入れる

オツ、オオオオオ…ツ…♡

んっ、オツ、ほおおお…ツ…んぐっ、オツ、おおお…ツ♡

このまま、オツ…に、偽物おちんちんを…中、に…っ♡

SE：デイルド出し入れ←

//理性失ってド下品に濁音でおっほおほに

んオオオオ…~~~~——ツ♡

ンオツ、オオオオツ♡

す、すび、ンオっ、すびすび、る、ん、う、オオツ♡

おまんこ、んおっ、ダメ、に、なる、おっっオ♡

おごっ、ホオツ、んぐおっ、オアツオツ、んっ、オツ♡

おうおっ、オオオ…ツ…ほっ、ンオツ♡

オツ、ンオツ、オツ、オツ、オオオ、オツ♡

んっ、オオオツ、あおっ、オオツ、んぐっ、オツおおツ♡

おまんこ、ずぼずぼ、ぎもぢ、ングっ、ぎもぢいっ♡

お豆さん、じんじん、して、んおツ♡

んおっ♡オツ、んおっ、オツ、オツ♡

おごっ、ほっ、ンツ、オツオオオツ…♡

あおっ、オツ、んおっ、オツ…♡

おっ、オツ、ンオツ、オツ♡

ゆ、勇者さん、勇者さんっ、ンオオおおツ…♡

せ、セックス、ンオっ、交尾、してください、オツ…♡

交尾、オツ、交尾、です、オツ、オオオ、オツ♡

無理やり、れいぷでも、いい、オっ、いいです、から、オツ…♡

おちんちん、ぱごぱご、ください、ンオっ…♡

勇者さん、の、精液っ、オツ、おちんぽみるく、んお…ツ♡

優秀遺伝子、欲しい、です…っ♡

ゆ、勇者さんとせっくす、オっ♡

勇者さんと、セック、ス、ンオお…っ♡

SE: デイルド出し入れ どんどん早く←

／＼行目で「正面・密着」へ移動 有声囁き

んおっ♡ オツ、んおっ、オツ、オツ♡

激し、んおっ、勇者さん、ぱいぱい、激しい、です、ンオツ…♡

おごっ、ほっ、ンツ、オツオオオツ…♡

あおっ、オツ、んおっ、オツ…♡

おっ、オツ、ンオツ、オツ♡

んぐっ、オオツ、あおっ、オオオツ…♡

こんな、おっ、激しいせつくす、オツ、オオオオツ…♡

だめ、です、れいぶ、ですっ…♡

こんなの、オツ、すぐイツちやう、ンオツ…♡

オツ、オツ、んおっ、オツ♡

んぐっ、オツ、オツ、オオオツ…♡

あっ、おっ、おっ、おっ…♡

う、う…

／＼行目で「右・密着」へ移動 絶頂に向けてスパート

イク…イク、イクっ…♡

おっ、オツ、精液、出して、くださーンオツ♡

おっ、オツ、おっ、オツ♡

ぞーめん、ぴゅっぴゅ、中出し、中出しっ…♡

んぐっ、オツ、おおごっ、おぐおっ、あおっおっ、いく、イッ…

んッ—お、オオオオ…—ッ♡

SE：潮吹き

SE：電マ離す

SE：デイルドストップ

／＼右…密着 絶頂、余韻オホと痙攣吐息

ンオおっ—オオオオ…—ッ♡

あ、うあ、お、あ—

はあ、はあ、はあ、はああ—っ

私の、勇者さん…♡

私だけの、勇者さん…♡

…♡

こ、このままで、いつか、えへへ…♡

／＼行目で抱きついて「左・密着」へ移動 有声囁き

もう好意を全く隠せていない

勇者さん、勇者さあん…♡

う…く、くさう…

おまんこくさう…

で、でも——

に、にふふ…皆がえっちしたがってた勇者さんが

私のおまんこ汁で、汚れちゃってる…♡

私、勝っちゃった…♡

酒場にいた女の人達全員に、勝っちゃった…♡

へへ、にふ、えへへ…♡

勇者さん、へへ、んふふ…♡

今日はこのまま、一緒に寝ちゃいます…♡

んふ、えへへ…♡

5
フリック5 終

■ ー山道

SE：サーニヤ、勇者に慌てて駆け寄る

//正面・中 囁きストップ

魔獣の群れを掃滅し、怪我により倒れた勇者さんに向かって

ゆ、勇者さん、大丈夫でしたかっ!?

む、無理に動かないでください

今ヒールで治しますからっ

SE：回復っぽいファンタジックな音 長めに←

ま、まだ喋っちゃダメですっ

モンカルの群れに囲まれてたんですよっ

こんな怪我で済んでるのが、奇跡なくらいなんですからっ

SE：回復っぽいファンタジックな音 長めに→

よし、これで——ちょっとお腹、見ますね？

失礼しますっ

SE：がばっ 服捲る

はう…腹筋、ごっごっして「——じ、じゃなくてっ

ん…うん、もう傷口は塞がってますね

//「もう治ったの…?」「的なことを言われて

はい、ばっちりです

こんなにささっと治っちゃうのも

勇者さんが普段からしっかり体を鍛えてるからだと思います

さ、立ってみてください

痛みとか、大丈夫そうですか？

SE：勇者さん立つ

——すっかり元気？

えへへ、良かったです

//お礼を言われて

——へ？

あ、えと、ど、どづいたしまして…

//最終行で抱きしめられて、「右・密着」へ移動

——って、お礼を言われるようなことじゃないですっ

確かに、勇者さんはこれまでずっと

回復魔法もなく、一人で旅してたのかもしれませんが…

…今日だって、私が地図を読み間違えなければ

モンカルの群れなんかと遭遇することもなかったんです

悪いのは、全部——はうっ

SE：抱きしめる

//右・密着 有声囁き

「そんなことないよサーニャのおかげだよありがとう」
的なことを言われて

ゆ、勇者さん…？

——はえ？

う…はう…うう…

わ、分かりました、分かりましたから

その…は、離して、ください…

SE：衣擦れ

//一行目でガバツと言いつ訳するように「正面・中」へ移動

囁きストップ

い、いえ、違いますっ

決して、勇者さんにぎゅってされたのが嫌だったわけじゃなくて
むしろすっぴんキドキしてお股がきゅんって——じゃなくてっ
お、お礼なんて私、本当に——

／＼勃起に気づく 勇者さんも男の子だね

あ——

ゆ、勇者さん…えへへ…♡

そこ——おちんちんのこと……にふ……♡

そっちも元気になっちゃいましたか…？♡

それとも、えへへ…

まだ本当は、怪我が残ってるんですか…？♡

／＼1～2行目で徐々に「正面・密着」へ近づくも、

2行目最後に引っぺがされて「正面・中」へ戻る

も、もしかしたら大変なことになってるかもしれないし、

私が診てあげます——ふべひゃっ

ゆ、勇者さんっ

ひっぺがさなくてもいいじゃないですかっ

私はただ、おちんちん——

えへへ、おちんちん、見てあげようとしただけなのに……♡

そ、そんなに慌てなくても大丈夫です…♡

見るだけ、見るだけですから…♡

おちんちん、見るだけです…♡

おちんちん、えへへ、おちんちん——♡

／＼また【正面・密着】へ近付くも、剥がされて【正面・中】へ戻る

ね、勇者さん…おちんちん、出してくださ——んぶっ

ち、ちよっ、勇者さんっ

——へ？

だ、大丈夫かどうかなんて

見てみないと分からないじゃないですかっ

は、早くおちんちん、見せてくださいっ

——へ？

ち、違いますよっ？

決して、私がおちんちんを見たいわけじゃないですし

えっちなんで、全然興味もないんですっ

た、ただ、勇者さんの怪我を見てあげよう——

SE：足音
↑

//歩いていってしまった勇者さんに追い続けるように

——あう、い、行かないでくださいっ

勇者さんっ！

6

トラック6 終

■ 1 宿屋・夕方

// 正面・中

おちんちんのことを考えてぼーっとしており、話を聞いてない
3行目で名前を呼ばれて驚く

ぼー……

おちんちん……へへ……勇者さんの……おちんちん……♡

へへへへへへへへ、むふ——はへっ!?

き、急に何ですか、勇者さんっ

——へ？ 話——？

——あい、いえ、聞いてましたよ、ちゃんどっ

今後の予定、ですよね、はいっ、もちろんですっ

えと、確か……魔王の棲む城が、えと、えーっ——

——あす、すみません……ちょっと、ぼーっとしちゃって……

は、はいっ、もう一回、お願いしますっ

//勇者さんの話に驚く

はい、はい…は、はいっ!?

も、門が開かれるっ!?

そ、それは——魔王城の門のこと、ですかっ!?

なんと——長きに亘って閉ざされたまま、

冒険者の侵入を一切許さなかったというあの門が、遂に…!!

…噂には聞いていましたが——

まさか、千年に一度の開門が、実際に起こるなんて…!

じゃあ、このチャンスを逃したら

また千年の時間が過ぎるまで、

魔王城の門は固く閉ざされるといっことだ——

い、いつですかっ!!

門が開くのは、いつ頃で——あ、明日っ!?

明日の——夜明けの、直前…!?

な、なるほど…ここから魔王城までは――

――うん、夜明け前なら、時間的にはかなり余裕がありますね
しっかり休んで、英気を養っておきましょう

…とはいえ――

今日も見ての通り、ベッドは一つしかないですが…

ま、まあ、仕方ないです、よね

宿屋はどごも混んでますし…

//勇者さんと密着して寝るのがとにかく楽しみにでれ

じゃあ今日も――二人で一緒に、寝ますか、えへへ…♡

ほ、ほら、魔王と対峙する可能性もあるわけです、から
しっかり休んでおいた方がいいと思いますし

二人でぎゅってした方が、

あったかくて気も休まると思いますし、ね、ねっ♡

――ソファで、一人で、寝る…？

ど、どどどどどどですかっ

勇者さん、あったまりたくないんですかっ

そ、それに、おちん——ゆ、勇者さんに抱きしめられてた方が
私も、気持ち良——ほ、ほら、あ、安心？　します、し

//目を逸らしながら劣情を告白した勇者さんに対して、

嬉しそうにニへニへ

——はい？

いけない気持ちに、なりそう、だから——？

——っ！♡

ゆ、勇者さん、えへ、えへへ、な、なんだ、にふ♡

そういうこと、だったんですか、にふふ♡

そう、ですよね…♡

昨日私のことを抱きしめてくれた時も

おちんちゃんが、とってもむくむくしてましたし…へへ…♡

勇者さん、そんなに格好良——す、涼しい顔してるのに

頭の中では、女の子のこと、いっぱい考えてたんですね…♡

ちなみに勇者さん、私とパーティを組む前は

一人旅をしてたって言ってましたが…

その時は、その——おちんちんがむくむくしちやった時は
どうしてたんですか…？

や、やっぱり、えっちなお店で

女の人に気持ちよくしてもらってたり——

——へ？

我慢…？

一人でしたりとか——も、無しで、とにかく我慢…？

が、我慢してたら、治るものなんですか…？

あそ、そうなん、ですね…うう、すごいです…

——え？ ただ？

朝、パンツが、ベトベトに——？

あ——へへ、えへへ…♡

そうなんですね…♡

寝てる間に、おちんちんが限界になっちゃって

せ、精液、いっぱい出ちゃってたんですね…♡

っ——そうだった♡

勇者さんっ♡

／＼行目で抱きついて「右・密着」へ移動 有声囁き

——ん——っ♡

勇者さん、すごいです…♡

勇者さん、今までずっと——

えっちな気持ち、我慢してきたんですね…♡

えっちなお店も我慢して、自分で触るのも我慢して——

立派です…♡

ちょっとだけ、寝てる間にえっちしたい気持ちが爆発しちゃって
精液出しちゃったかもしれない、けど——

それでも、勇者さんはとっても立派です…♡

——はい…♡ とっても、とーっても、立派です…♡

誰もが認める、本物の勇者さんなんです…♡

だから――

――ちょっとだけ、えっち、してみませんか…？♡

ち、ちょっとだけなら、きっと大丈夫ですっ♡

ちょっとえっちなことしても

真面目に冒険して、最終的に世界を救えれば――

それで、いいじゃないですか…♡

魔王を倒す前の景気付けに、

ちょっとえっちなするだけじゃないですか…♡

勇者さんの、これまでの禁欲、とっても立派です…♡

だから――

もし今えっちな気持ちに負けて、ちょっとだけ交尾したって…

誰も勇者さんのこと、責めないですよ…♡

も、勿論、私がえっちしたいって訳じゃ、ないんですよっ

ただ、すっきりしてから眠りについた方が

しっかり休めるからってだけ、で…♡

ね、どうですか…？♡

えっち——せつくす…♡

私と、せつくす——女の子と、生せつくす…♡

おちんちんで生おまんこ、ぱごぱごしちゃいませんか…♡

／＼行目で「正面・中」へ移動 囁きストップ

——へ？

ね、寝る？

ち、ちょっと待っててくださいっ

どうしてそうなるんですかっ

——性欲なんかには、負けない…？

ち、違いますよ、決して欲に負けるわけじゃないんですっ

ただ、魔王城に挑む前に体調を万全にしておくだけというか

おちんちんがイライラしたままじゃ中々眠れないでしょうし…

ね、ほら、私も別に、えっちしたいわけじゃないですし

決して快樂に負けるわけでは——

ぐ…

う、う…強情なんですから…

じ、じゃあもう、勝手にしてくださいっ

勇者さんはそうやって、目を瞑って寝ようとしてねばいいですっ

その代わり——

／＼行目で「左・密着」へ移動 有声囁き

んっ——

へへ…♡

私、こうして…勇者さんに抱きついて

耳元で、えっちなお話、いっぱいしちゃいます…♡

もし、私の話を聞いて、おちんちんが硬くなっちゃったら——

観念して、えっち、してくださいよ…?♡

だって勇者さん、あの時、

私に抱きついて、おちんちんがむくむくしたってことは——

本当はずっと、私におちんちん、

入れたかったんじゃないですか…？♡

最初の酒場で私を仲間にしてくれた時も

本当は勇者さん、

女の子と二人っきりだー、とか…

えっちなハプニングが起きちゃうかもー、とか…

そういうこと——

——ちょっとくらいは、考えちゃってたんじゃないですか…？

え、えへへ…♡

もし、旅の途中の山奥で、

我慢できなくなった勇者さんに、無理やり犯されてたら——

私、どうなっちゃってたんでしょう…♡

だって勇者さんと私じゃ、体格にも腕力にも、

とつても差がありますし…♡

もし勇者さんに押し倒されちゃったら、

そのまま力任せに

無理やり足をパカってされちゃうんですよ…♡

私は恥ずかしくて抵抗しますけど

勇者さんには力じゃ絶対敵わないから――

しばらくしたら結局、

自分からお股を開いておまんこを見せつける、

媚び媚びおまんこ穴のポーズ、しちゃうんです…♡

そしたらもう、おつきくなった

勇者さんのいけめんおちんちん、入れちゃうんですよ…♡

私は必死に、

やめてください、レイプしないでくださいーって

精一杯叫ぶんですけど…

魔獣が生息するような山なんて

誰も助けになんて来てくれませんか――

ぱごぱご、ぱんぱんって

絶対バシない完全犯罪レイプ、されちゃうんです…♡

／＼行目で「正面・密着」へ移動

へへ…♡

そうしてたっぷりおまんこを堪能された後、

やっとレイプが終わったとしても――

私、逃げられないんです…♡

戦うこともできない弱い私は

一人じゃ山を降りることもできないし

冒険者として生きていくこともできないんです…♡

だから私、

たった今レイプされたばかりの勇者さんに擦り寄って――

助けてください、仲間でいさせてください…って

笑顔で媚び媚びするしかないんです…♡

そうだったら…強い勇者さんが言うことなんて

一つしかないですよね…♡

／＼行目で「右・密着」へ移動

へへへ…♡

これからも仲間であってやる代わりに

いつでもマンコ使わせるわ…♡

へへ…にふ…えへへ…♡

性奴隷マンコのできあがり、です…♡

いつでも気軽に遊べる、おもちゃおまんこ、ゲットです…♡

ちょっと手持ち無沙汰になったら

何の断りもなく私の服に手を入れて

おまんこ、くちゅくちゅって

遊んじやってもいいんです…♡

私のこと抱っこして、おまんこほじほじしながら

町の中を歩いてもいいんです…♡

そしたら私、あんあん、いくいくって

すぐ媚び媚びえっちな声をあげちゃって——

道行く人にも、

あー、あの人えっちなことしてるーって

バシちゃうかもですけど——♡

それでも、いいんです…♡

このマンコは俺のだぞー♡

俺が飼ってるメスなんだぞー、って…

勇者の血を持つ特権を

町の男性達にたっぷりアピールしたら、そのまま宿屋に入って

ばごばご、ぱんぱんって

オナホおまんこ生ハメ交尾、するんです…♡

普通の人じゃ絶対できない、

おちんちんの気持ちよさしか考えない、

私の体を使ったオナニーみたいなせつくす…♡

特別な勇者さんなら、簡単にできちゃうんです…♡

そうやって毎日、ばごばご、ぱんぱん、って

オナホール扱いをされ続けたら…

私きつと、一週間もしないうちに

勇者さんにすっかり服従しちゃってると思うので――

勇者さんのおちんちんがむらむらしてる気配を感じたら

すぐ服を捲って、オナホアピールを始めちゃう

都合のいい歩くおまんこになっちゃうんです…♡

／＼行目で「正面・中」へ移動 囁きストップ

た、例えば——♡

SE：服捲り上げる

こ、こんな感じに

服を捲り上げて、おまんこ丸見えのポーズに——

／＼思わず目を開けた勇者さんに対し嬉しそうに

——あれ…??♡ どうしたんですか、勇者さん…♡

目、開いちゃってますよ…??♡

寝るんじゃないかったですか…??♡

へ、へへへ、ううん、いいんですよ、えへへ…♡

私のおまんこ、いっぱい見ちゃって、いいんです…♡

勇者さん、今までずっと、厳しい冒険に明け暮れるばかりで

おまんこ、我慢してたんですよ…??♡

本当はずっと、女の子のお股、見たかったんですよね…??♡

えへへ——♡

私なら、いいんですよ…♡

ぶにぶにのすじも、せませまな穴も——

じっくり、たっぷり見ちゃって、いいんですよ…♡

——ん？ あ——♡

えへへ…気づいちゃいましたか…♡

私が、おぱんつ履いてない、こと…♡

へ、へへ、そうなんです…♡

私、おぱんつ履くの、やめたんです…♡

どうしてか分かりますか…??♡

／＼行目で「左・密着」へ移動 無声囁き

勇者さんの隣を歩いてると、

すぐおまんこがびちよびちよになって

おぱんつが汚れちゃうから、です…♡

／＼有声囁き

言っておきますけど、おまんこが濡れちゃうのは

決して私がえっちな気持ちになってるわけじゃ、ないんですよ

ただ——勇者さんのオスフェロモンを間近で浴びちゃったせいで

女としての本能が、自然とおまんこを濡らさなきゃーって

交尾の準備を始めっちゃってるだけ、で——

／＼行目で「正面・密着」へ移動 有声囁き

えへへ…♡

勇者さんは気付いてなかったかもですが——

私、最近はずっと、勇者さんの隣を歩きながら

山道に、ぽたぽたって、お汁、垂らしてたんです…♡

わ、私は、えっちなんで全然、

これっぽっちも興味ないんですけど——

でも、おまんこは、勇者さんのおちんちんが欲しくて

毎日寂しいよーって——

泣いちゃってたんです…♡

／＼行目で「右・密着」へ移動

ね、勇者さん…♡

勇者さんのおちんちんはおっきくなって…

私のおまんこはぬるぬるになってて—

今は、誰も見てないお部屋で、二人きり、なんですよ…♡

こんなの—

えっちするために用意されたような状況じゃないですか…♡

おぱんつに精液をぴゅっぴゅって吐き出しちゃうくらいなら

—

私のおまんこに中出し、しちゃいませんか…？♡

おちんちん、くださあい…♡

おちんちん…おちんぽ…おちんぽ様あ…♡

私、魔獣が怖くて、何にもできない無能だから…♡

せめて、おまんこでお仕事、したいんです…♡

おまんこだけは、しっかりぐちよぐちよになって

勇者さんのおちんちんを気持ちよくする準備、

ばっちりなんです…♡

ね、勇者さん…♡

勇者さんのおちんちんを気持ちよくすることしかできない、

無能ぶにまん白魔導士のサーニャに

お情けのシイプせっくす、してくださいさあーい…♡

お願いしますう…♡

■ 1 宿屋・夕方

SE：ズボン脱ぐ

／＼行目で「右・密着」→「正面・中」へ移動 心の底から嬉しそうに

っ——！♡

ゆ、勇者さん、えへ、にへへ、じゅる、へへ…♡

おちんちん…へへ、おちんちん見せてくれるんですか…？♡

へへ、やった、へへ——♡

あ——ゆ、勇者さん、おぼんつのそっ、えへへ…♡

おぼんつ破っちゃいそうなくらい

ぱんぱんに膨らんでる、それ——♡

／＼行目で「正面・密着」へ移動 有声囁き

だんだん理性を失っていく感じをお願いします

お、おちんちん…♡♡♡

それに、おぱんつの先っぽの所が、ひたひたに濡れてるの——
我慢汁、ですよね…へ、へへへ…♡

この向こうに、ほ、本物の、おちんちんが…♡

ふ、ふー、ふーッ…♡

ぬ、脱いでください…♡

おぱんつ、早く脱げ…♡…ぬ、脱いで、ください…♡

こ、これ以上焦らしたら、私——

ゆ、勇者さんのこと、襲っちゃいます…♡

れーぷ、しちゃいます、よ…♡

だ、だから早く、早く——ッ♡

SE：パンツ脱ぐ

——ッ！♡♡♡

お、おちんちん、おちんちん♡

へへ、へへ、へへ、おちんちんおちんちんおちんちん♡

ゆ、勇者さん、これ——おちんちん、

くんくんしても、いいですか♡

／＼嗅いだけで下品な潮吹き濁音オホ絶頂

は、はいっ♡ では――

っ――すん、すん――

――オツツ♡ イグツツ♡♡

SE：潮吹き

ふ、ふーっ、ふーッ…♡

す、すみません、勇者さん…♡

勇者さんの優秀なおちんぽフェロモンを直で浴びちゃったせいで

おまんこ、何もしてないのにイっちゃいましたあ…♡

ぶしゅぶしゅっておまんこ汁噴射して

勇者さんの足に、いっぱいかけちゃいました…♡

す、すみません…♡

勇者さんの足、指の間までしっかり舐めて、綺麗にしますね…♡

／＼ねっとりじっくり美味しそうに献身的な足舐め

んあ——あむんっ

ん、じゅるる、んうっ、ちゅちゅんっ♡

ん、じゅううっ、じゅる、ちゅずず、んぢゅ♡

ぢゅうっ、んうっ♡

んちゅ、ちゅる、んうれう、ぢゅるりゅんっ♡

んっちゅ、ぢゅづづ、ぢゅむ、ちゅっ、ちゅっ♡

んちゅ、んじゅる——ぷはっ♡

へへ、へへ…♡

勇者さんの足、綺麗にしましたあ…♡

どう、でしたか…?♡

自分より格下の、弱い女の子に足を舐めさせるの——♡

——あ…♡

おちんちん、さっきよりもおっきくなってるう…♡

へ、へへ、にぶ、ぶにゅへへ、えへ、えへ…♡

ゆ、勇者さん、腰をぐいーって前に出して、

私の顔に、おちんちん、突き出してください…♡

SE：衣擦れ

// 跪いてちんぽにキス

一行目は発情した犬みたいにちんぽに夢中な息遣いで

へ、へっ、へっ、へっへっ…♡

じ、じゃあまずは——

んあ——んちゅ…♡

へへ…♡

これからおまんこを犯していただくおちんぽ様に

ご挨拶のキス、です…♡

んあ——ちゅ、んちゅ——♡

ちゅ、んちゅ、ちゅる、んあれる——♡

あむ、んちゅ——んえあ——♡

——えへへ…♡

先っぽからおちんぽ汁、出ちゃってます…♡

ちゅ、ちゅって、お口で舐めとって——

——んちゅ…♡

えへへ——♡

とっっても美味しくて、ずっと舐めてたいです…♡

んあ——んちゅ、ねろ…んあ——♡

えへへ…♡

ご、ごめんなさい、勇者さん…♡

またおまんこから、お汁がだらだら垂れて——

床に、水溜り…作っちゃいました…♡

じゃあ、勇者さん…♡

//一行目で「正面・中」へ移動 囁きストップ

私、こうして——

SE：ベッドに仰向けで寝転ぶ衣擦れ

仰向けで寝転んで、蛙さんみたいに足を開いて…

おねだりおまんこのポーズ、しちゃいます…♡

勇者さん…来てください…♡

全く戦えない無能なくせに、

おまんこだけは人一倍に濡らしちゃってる、

情けない無能雑魚まんこ——♡

れ、れーぷみたいに、無理やりぱんぱん、してくだちら——♡

SE：勇者さんがサーニャに覆い被さる

100

／＼行目で「正面・密着」へ移動 しばらく有声囁き

あ——えへへ…♡

勇者さん…♡

ち、近い、ですね…えへへ…♡

こ、こうやって勇者さんに覆い被さられてると…

雄と雌の力の差、感じちゃいます…♡

SE:ぬるっ

あ——っ♡

おちんちんの先っぽ、おまんこの入り口に、ちゅ、ちゅって——
これが今からお前を犯すおちんぽ様だぞ——♡

覚えとけよ——っって……な——♡

SE:ぬるっ 奥まで

//下品にオホオホ

最終行でピストン開始されて「左・密着」へ移動

ん、オツ……おっ、ん……おおお……っ……♡

入って、きた——おツ……おツお……♡

ツく……は——は——っ……はあ——っ……♡

へ——へへ、えへへ……♡ お……犯され、ちゃったあ……♡

私の初めておまんこ……勇者さんの、デカチンポ様で——♡

ずぶぶ——っって……♡ はあ……はあ——……♡

こ、これが、セックス——んオツ!?!♡

／左・密着 低音濁音の上品なオホ声

あつ、オツ、ンオツ、オツ…♡

んおつ、オツ、ングオツ、オオツ、あおつ、オツオ♡

オツほ、んっおつ、オオオツ、んっ、オツ、オオオツ…♡

おつ、おつ、おおつ、んおつ…オオオ…♡

おツ、んおつ、おつ、オオオツ…♡

これ、が…オツ、オツ…♡

セツク、ス、あおつ、んおつ…♡

きもち…気持ちいい、ですっ…♡

オツ、オツ、んおつ、オオツ…♡

おつ、んおつ、オツ、おつ…♡

んぐっ、ほおお…♡

おつ、あおつ、ンツ、オツ、オオオ…♡

ふぐっ、うっ、オツオツ…あつ、んっ…

／＼行目で「正面・密着」へ移動

はー…はー…♡

ゆ、勇者さん…♡

とっても男らしく、がっがっ腰を振っちゃってましたね…♡

我慢、できなかったんですか…？♡

ずっと想像だけで我慢してた、

初めての本物おまんこ…

思ったたよりもずっと気持ちよくて…

腰が、勝手に動いちゃってたんですね…♡

——えへへ…♡

そうですね…♡

おまんごごころか、

おちんちんを、たく…つくさん擦るのすら

初めて、なんでもんね…♡

//抱きつくように1行目で「右・密着」へ移動

えへへ…♡ ううん、いいんです…♡

もう、我慢しないで、いいんです…♡

これからは…今までいっっぱい妄想してた通りの、

おちんちんのイライラをぶつけるみたいなえっち…

して、いいんです…♡

私のおまんこ、勇者さんの隣にいただけで、簡単に

準備万端のぬるぬるおちんぽケース穴になっちゃうので…♡

これからは、おちんちんがむくむくしてきたら…

すぐ、私のおまんこ穴に…入れて、いいんです…♡

勿論、入れるだけじゃなくて—

入れて…出して…入れて…出して—♡

最後は、おまんこの一番奥に、ぴゅっ、ぴゅっ…って—

—ね、勇者さん…♡

射精、してください…♡

このまま、ぱんぱん、ぱんぱんって——
容赦ないピストンで、おまんこの一番奥の
赤ちゃんのお部屋に…種付け…しててください…♡

SE: めめっ

んオツ——♡

SE: ピストン普通↑

／＼右・密着 低音濁音の上品なおホ声

んおっ♡オツ、んおっ、オツ、オツ♡

ゆ、勇者さ、んおっ、は、はや、オツ…♡

おごっ、ほっ、んっ、オツオオオツ…♡

あおっ、オツ、んおっ、オツ…♡

おっ、オツ、んオツ、オツ♡

んぐっ、オオツ、あおっ、オオオツ…♡

おっ、オツ、オオオオツ…♡

オツ、オツ、んおつ、オツ♡

んぐつ、オツ、オツ、オオオツ…♡

あおつ、オツ、んおつ、オツ…♡

おつ、オツ、ンオツ、オツ♡

こ、これ、っおつ、もづ、オツ…♡

私、もう、すぐイツちやい、ますっ…♡

あっ、おつ、おつ、おっ…♡

う、う——ッ

／＼右…密着 無声囁き 絶頂に向けてスパート

イク…イク、イクっ…♡

おつ、オツ、おっっ、おっっっ…♡

おつ、オツ、おつ、オツ♡

ざーめん、ぴゅっぴゅ、中出し、中出しっ…♡

んぐつ、オツ、おおびっ、おぐおっ、あおっおっ、いぐ、イツ…

んっ、オツ、おっっ——♡

SE…射精

／＼右…密着 吐息混じりの有声囁き

余韻オホと痙攣吐息

ンオツ、オツ、お、オオオオ…~~~~ツ…♡

あ、うあ、お、あ——

はあ、はあ、はあ、はああ——っ

ふー、ふー…かひゅ、ふうう…

ぜえ、ぜえ、ぜえ、ぜー…

ん、う…あ、あ——

ふあああ…♡

えへへ…♡

勇者さん…♡

いっぱい、出ちやいましたね…♡

どびゅどびゅ、びゅるびゅる……っ…

私のおまんこの奥、あつあつのおちんちんミルクで

たぶたぶになっちゃってるの、解ります……♡

／＼行目で「正面・密着」へ移動 いたずらっぽく

ふふ…勇者さん…♡

いつもはあんなに強くてかっこいいのに…

射精する時だけは、あんなに必死に、へこへこ腰を振って…

びく、びくーって…情けなくおちんちんを震わせちゃって…♡

えへへ…私、魔法もダメダメだし、地図も読めないけど—

えっち勝負なら、勇者さんにも勝てちゃうんですね…

私のぷにぷにおまんこと、勇者さんのガチガチおちんぽ—

私のおまんこ、圧勝、です…♡

こんなに狭くいいおまんこなのに…ふひひ…♡

へへ…勇者さん…♡

いつも横に従えてるだけの、ちっこい女の子に負けちゃうの—

どんな気分ですか…??♡

／＼イライラした勇者さんに再ピストンされて

2行目で下品に「左・密着」へ移動

え、えへへ、なんちゃって—…えへ、じょうだん—

—んオオオツ♡

／左・密着 激しくド下品に低音のオホ声

どんどん理性を失う感じで

オツ、ソオツ、アオツ、オツ…♡

ご、ごめんなさ、オツ、ごめんなさい、オツ、んおっ、おっ♡

ングオツ、オホツ、オツ、オツ♡

ま、負けてまひゅ、んおツ、雑魚マンコ、屈服してますっ♡

おっ、オツ、オツ、オオオっ…♡

何にもできない無能馬鹿まんこ、オツ、んおっ♡

完全敗北のただまん生オナホに、オツ、なってますしゅっ♡

マンコの主導権、オっ、握られて、ましゅっ、オツ、お…♡

勇者さんの命令、で、んっ、ソオっ♡

いつでも、お尻フリフリって、アオツ、オツ♡

下品にお汁、ソオっ、撒き散らして、オツオ…♡

ぷにぷにおまんこダンス、しちゃう、

えっちな踊り子奴隷に、なりましゅっ、オツ、オツ♡

奴隷ですオナホですマンコです雑魚マンコでしゅンオおおッ♡

ふぐっ、うおっ、んおっ、オツ…♡

おっ、んおっ、あおっ、オツ…♡

んぐおっ、オツ、オツ、んっおおお…♡

おっ、おっ…♡

おっ、あおっ、ンオツ、ングオツ、オツオ…♡

おおおお…おっ、おおお…ッ♡

ンッ、オツ、オツ、お…♡

ふっ、んっ、うっ、うっ…♡

／＼行目で「正面」密着へ移動 吐息混じりの有声囁き

理性皆無の貪るようなキスハメ 吐息とオホ声が漏れ出る

フー…フー…♡

んお——はむんっ！

ちゅっ、ちゅむっ、ぢゅう…ンッ…♡

ちゅっ、ぢゅっぢゅうう…ぶ—…ぶ—…

ぢゅるるっ、ぢゅびっ、ちゅっゅうう…おっ…♡

はあっ、んうっ、はっ、んお——はむんっ！

んっ、んむっ、おんっ、んおぢゅっ♡

んぢゅ、んぐっ、んお、んおおっ、んっ…♡

んぢゅ、んっ、んお、んおおっ、ん…っ♡

ちゅ、ぢゅるんむっ、ほお…っ♡

ちゅる、ちゅ、おっ、んお…っ♡

ちゅ、ぢゅるんむっ、お…っ♡

ちゅる、ちゅ、おっ、んほおっ…♡

んっ、んっ、ぢゅる、ぢゅっ、んんん…んべっ——ぶはっ♡

SE:ピストン速く激しく←

／＼行目で「右・密着」へ移動 有声囁き

ここからは今までで一番下品に 理性なくてっっです

ンオツ、オオオオツ…♡

おごっ、ホオツ、んぐおっ、オアツオツ、んっ、オツ♡

ぎもぢいっ、おっ、オツ、おまんこ、ぎもぢいっ、オツ♡

おうおっ、オオオ…ツ…ほっ、ンオツ♡

オツ、ンオツ、オツ、オツ、オオオ、オツ…♡

んっ、オオオツ、あおっ、オオツ、んぐっ、オツおおツ♡
おっ、オツ、オツ、おおおお…ツ♡
オツ、オツ、んっ、フーッ、フーッ…♡
んっ、うア…ツ

SE.:ピストン最速←

オツ、ンオツ、オオオツ、オツ♡
こ、これっ、オツ、オツ、やば、い、オオツ♡
んぐおっ、ホオオオオツ…♡
オツ、オツ♡
んおっ、オオオツ♡
オツ、オツ、んぐっほっ、オツ、オオオオ…♡
勇者さ、んおツ、オツ…♡
おっ、オツ、オツ、あおっ、ンツ、オオオ…♡
私、もう、もう——っオツ、オツ、んぐっ…♡
おっ、オツ、あっ、んっ…
オツ、おっ、おっ、んっ、うっ、お、

雑魚マンコイギますっ♡

オオオオツ、オツ…♡

オツ、んおつ、オツ、オツ…♡

勇者さ、オツ、おちんぽ、マンコイグ…ッ♡

おつ、あおつ、オツ、ンオツ、オツ…♡

／絶頂に向けてスパート

はうっ、うっ、おつ、んっ♡

いっちばん奥に、射精、オツ…♡

精液、恵んでください、オオツ♡

おつ、オツ、ンオツ、オオオオオオツ…♡

イク、イクっ、イクっ♡

んおつ、おおつ、んぐおつ、おつお、

あおつ、オツ、んっ、う——

オツ、んぐっ、お、オオオオオ…——ッ…♡

SE.. 膣内射精 なかだし

／＼右・密着 有声囁き 絶頂 余韻オホと痙攣吐息

あぐっ、オオオ——くく…んっ、オツ、オオオ——くく…♡

は、が、ひゅっ——♡

ふうう、ふ、ふうう…♡

ぜえ、ぜえ、ぜえ、ぜええ…♡

うあ、あ…んう、うう…♡

はあ、はあ、はあ、はあ…♡

あう、う、うう、んっ、んあ、あ——

あ…ふ、ふあああ…っ♡

／＼とっても嬉しそう 媚び媚び♡ 媚び媚び♡ 有声囁き

へ、へへ…ふひ、ひひひ…♡

ゆ、勇者さあん…♡

私のお股についてる、雑魚ぷにオナホ…

気持ちよくしてくれて、ありがとうございます…♡

勇者さんが、とっても格好良くピストンしてくれたおかげで

私のおまんこ、勇者さんのおちんちにすっかりメロメロで——

このおちんちんの形、覚えちゃいました…♡

／＼行目で「正面・密着」へ移動 有声囁き

ん…？

どうしたんですか、勇者さん…？

—もっと、したい…？

—っ♡♡♡

へ、へへ、ふひひ、な、何言ってるんですか、勇者さん…♡

私のおまんこ穴は、勇者さんのものなんですから—♡

何も言わずに、無言でねーぷしちゃって、いいんですよ…♡♡

へへ、へへへへ…♡

／＼行目で「正面・中」へ移動 囁きストップ

—へ？

時間—？

あ—た、確かに…

そろそろ寝ないと、魔王城の開門に間に合わなくなちゃうかも…

で、でもっ——う、う…

ゆ、勇者さん…あの——

／＼行目で「左・密着」へ移動 有声囁き

んっ——

ん、う——べ、別に、いいんじゃないですか…？♡

だ、だから——

明日、魔王城に行かなくても、いいじゃないですか…♡

も、元々魔王城には、

正門以外の場所から侵入する予定でしたし——

ね、それに、ほら——

いきなり開門なんて言われたって

まだ大した準備もできてないですし、

返り討ちに遭っちゃうかもしれないっ

だ、だから——♡

し、しまししょうよ、えっち♡…♡

交尾…セックス…ね、ねーぷ…♡

今日だけ…今日だけ、お願いです…♡

おまんこ奴隷の一生のお願い——

叶えてくれませんか、勇者さん…♡

魔王のことなら、きっと大丈夫ですっ

焦っても仕方ないですし、それに——

別に、私と勇者さんが世界を救わなくても——

誰かがやってくれますよ、きっと…♡

へへ、へへへへ、へへひひ、ひひ——♡

■ ーサーニヤの故郷・ホームビス 外

SE：雑踏

／右・密着 最後まで有声囁き とろとろな甘オホ

オツ、ソオツ、オオオツ、オツ♡

オツ、オツ、オオツ♡

抱っこしておまんこ穿られるの、んおっ、ぎもぢい…っ♡

女の子の、一番大事な所、ソオツ…♡

おもちゃ、あっ、みたいにつ…♡

気軽に触られるの、お、ソオツ…ぎもぢい…っ♡

／絶頂に向けて高まっていく

んぐおっ、ホオオオオツ…♡

オツ、オツ♡

んおっ、オオオツ♡

オツ、オツ、んぐっほっ、オツ、オオオオ…♡
ゆ、勇者さんの、匂い、オツ…♡

あ——ああイクイクっ、イきます、オツ…♡
おまんこ汁噴射します、んおっ、あ、あ——

イク、イクっ、イクっ♡

んおっ、おおっ、んぐおっ、おっお——

オオオ——♡

SE：潮吹き

／／絶頂

あぐっ、オオオ——っ…

んっ、オツ、オオオ——っ…♡

はっ、は——は——っ…♡

はあ、はあ、はあ…はあ…♡

へ、へへへ…♡

いっちゃんいました…♡

私…勇者さんに抱っこされながら、おまんこ虐められて—
すぐ、いっちゃいました…♡

えへへ…町の人にいっぱい見られています…♡

勇者さん、すっかり癖になっちゃってますね…♡

持ち運びおまんこおもちゃで遊びながら、町を歩くの…♡

色んな町で、色んな人に見られながらおまんこを弄られて—

私も、すっかり病みつきになっちゃいましたあ…♡

／＼行目で「正面・密着」へ移動

それに、今日は—

—へへ…♡

こうして…故郷で、顔見知りの皆に見られながら

おまんこを犯してもらえて…♡

私、とっても誇らしいです…♡

女の子なら誰もが憧れる、

勇者さん専用のおまんこペットになれて—

へへ…皆に羨ましがられちゃいます…♡

そ、そうだ、勇者さんっ

これから、酒場に、行きませんか…？♡

はいっ♡

私と勇者さんが始めて会った酒場、ですっ

私、自慢しちやいたいんです…♡

皆さんが欲しがってた勇者さんのおちんちん、

私が貰っちゃいました、って…♡

勇者さんも、他の冒険者さんに自慢して、いいんです…♡

俺は勇者だから、こんなにちっちゃい女を

携帯肉便器にできるんだぞー、って…♡

ね、どうですか…？♡

へへ、はいっ♡

//また抱っこされたまま手マンされて「左・密着」へ移動

じゃあ——ンオっ♡

へ、へへ、おまんこ穿りながら、行くんですね、へへへ…♡

はいっ♡

どうせ周りからは、服で隠れてよく見えないと思うので——
えへへ…たっぷり可愛がってくださいっ♡

//とろとろな甘オホ 酒場の女店主との会話の間も流れます

オツほ…んっおっ…オオオツ…んっ…オツ…オオオツ…♡

おっ…おっ…おおっ…んおっ…オオオ…♡

おツ…んおっ…おっ…オオオツ…♡

オツほ…んっおっ…オオオツ…んっ…オツ…オオオツ…♡

おっ…おっ…おおっ…んおっ…オオオ…♡

オツ…んっお…オオオツ…んおっ、ぎもぢい…っ♡

おツ…んおっ…おっ…オオオツ…♡

SE：カリンノロン

//冒険に勤しんでいるはずの勇者が来店したことに気づき、

声を震わせながら

は—い、いらっしゃ—え…?

アンタ、あの時の——

お、おいアンタ、なんでこんなところにいるんだ…？
もう随分前に旅に出たんじゃなかったのか…？
っていうか、その子は――

――え？

ベロニィを、サワーで…？

ち、ちょっと待ってくれ

アンタ、冒険のために酒は飲まないって――

それに、その剣（けん）――ッ！

そんなに錆びちまって、一体何が――

//結局はこの男も他の冒険者と同じだった

感情を殺して

――っ

…いや、何でもないよ

ベロニィだったね、少し待っててくれ

…いや、本当に何でもないんだ

結局は――

／＼行目はゆっくりめに、失望や

行間の間をたっぷりとってください

アンタも獣だった――

――それだけの話さ

10
トラック9 終